



みなさまこんにちは、このたび令和4年1月の理事会においてご推薦をいただき3月の総会において「第7代石川県臨床内科医会会長」に選任されました長尾信です。

大変な重責であり、身の引き締まる思いです。

まず、自己紹介をさせていただきます。

私は昭和39年白山市（旧美川町）で生まれました。平成元年金沢医科大学を卒業後、金沢大学外科（旧第一外科）に入局し、北陸3県の病院で診療に従事させていただきました。平成13年に父が他界したことを受け、同地で現在の医院を引き継いで今に至っております。

石川県臨床内科医会には開業当初より入会しております。亡き父の書斎には内科医会の会誌が整理されており、開業当初より診療に役立つ内容を参考にしながら診療に臨んだことが思い出されます。

平成24年に第5代会長洞庭賢一先生からのお誘いで理事に、平成25年には日臨学術部委員（循環班）にご推薦いただき活動させていただいております。また、前会長（第6代会長）坂東琢磨先生の下で副会長を努めさせていただいております。元外科医である私では力不足かもしれませんが、本医会の充実と発展はもとより、会員の皆様に入会して良かったと言っただけのような活動を行っていきたいと考えております

ここで、石川県臨床内科会の成り立ちについて触れさせていただきます。

本会は昭和61年に創設されました。金沢内科医会を発展的に解消し、これを母体として、加賀地区（小松内科懇話会を中心に）および能登地区からの参加を得て結成されております。初代会長は永田良作先生で、創立時の会員数は222名でした。その後、第2代会長に梅田俊彦先生、第3代会長に岩城紀男先生、第4代会長に近藤邦夫先生、第5代会長に洞庭賢一先生、第6代会長に坂東琢磨先生がご就任されています。また、平成7年には梅田俊彦会長の下で第9回日本臨床内科医学会を、平成22年には近藤邦夫会長の下で第24回日本臨床内科医学会を開催しております。

また、呼吸器のスペシャリストである坂東琢磨・前会長は日本臨床内科医会常任理事も務められており、県内はもとより全国の会員に対して幅広く活動されておられます。

現在、内科系を中心に実地医療に携わる医師200名近くの会員が活動されています。

私も含め内科学を専攻して来られなかった内科診療に励まれる方々にも開かれた有意義な組織であり、皆様の入会を心よりお待ちしております。

次に本年度の活動方針について述べさせていただきます。

基本方針は以下の通りです。

- ・フラットでオープンな議論を通じて理事会の機能強化を図りながら、会員の皆様に有益となる事業の充実・医会の活性化に努めていく。
- ・生涯教育としての研修会の充実。
- ・臨床研究の企画や参加の促進。
- ・福利厚生事業に関連した研修会開催。

- ・ホームページの充実と情報発信。
- ・日本臨床内科医会、日本高血圧学会実地医家部会、日本高血圧協会、石川県心臓病地域連携協議会との連携。
- ・会員増強の取り組み。

役員 の 分担 ・ 活動事項については以下の通りです。

濱田和也副会長 ICT・広報・会報誌・福利厚生 総括

I C T ・ 広 報 ・ 会 報 誌 委 員 会 委 員 長 濱田和也

藤田晋宏副会長 臨床研究 J—D O M E ・ 経 理 ・ 研 修 会 総 括

- ・ 日本医師会かかりつけ医診療データベース研究事業（J—D O M E）への参加
主担当 藤田晋宏 副担当 循環器 向出大介 副担当 糖尿病 古川健治
- ・ 経理担当 古川健治
監事会 長尾信 藤田晋宏 古川健治 向出大介 小西堅正
- ・ 研修会の企画及び研修会のあり方
主担当 古川健治
高田副会長 総務・規約・禁煙フォーラム・臨床研究の新たな企画 総括
- ・ 総務 担当 大溝了庸
- ・ 規約委員会 委員長 竹田康男
- ・ 禁煙フォーラム 担当 佐原博之
- ・ 臨床研究の新たな企画検討委員会 委員長 高桑 浩

役員一同一丸となって、伝統ある医会の発展のために邁進していきたいと考えております。
今後とも皆様方からのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。